§9.5 指数・対数に関する不等式

定理9.1と定理9.2.2とを思い起こして下さい：定数 a について，

- $a>1$ のとき指数関数 a^x も対数関数 $\log_a x$ も単調増加であり，
- $0<a<1$ のとき指数関数 a^x も対数関数 $\log_a x$ も単調減少である．

実数 a について $a>1$ とします．実数 r,s とについて $r,s>0$ とします．対数関数 $\log_a x$ は単調増加ですから，

$$r<s \text{ ならば } \log_a r<\log_a s .$$

また，指数関数 a^x は単調増加ですから，

$$\log_a r<\log_a s \text{ ならば } a^{\log_a r}<a^{\log_a s} ;$$

定理9.2.1より $a^{\log_a r}=r$ ，$a^{\log_a s}=s$ なので，

$$\log_a r<\log_a s \text{ ならば } r<s .$$

こうして次のことが導かれます：

$$r<s \iff \log_a r<\log_a s .$$

実数 a について $0<a<1$ とします．実数 r,s とについて $r,s>0$ とします．対数関数 $\log_a x$ は単調減少ですから，

$$r<s \text{ ならば } \log_a r>\log_a s .$$

また，指数関数 a^x は単調減少ですから，

$$\log_a s<\log_a r \text{ ならば } a^{\log_a s}>a^{\log_a r} ;$$

定理9.2.1より $a^{\log_a r}=r$ ，$a^{\log_a s}=s$ なので，

$$\log_a s<\log_a r \text{ ならば } s>r .$$

こうして次のことが導かれました：

$$r<s \iff \log_a r>\log_a s .$$

このようにして次の定理が導かれます．

定理9.5 実数 a について $a>0$ ，$a\neq 1$ とする．
(1) $a>1$ のとき，正の任意の実数 r と s とについて，

$$r<s \iff \log_a r<\log_a s ,$$
$$r\leq s \iff \log_a r\leq\log_a s ;$$

(2) $0<a<1$ のとき，正の任意の実数 r と s とについて，

$$r<s \iff \log_a r>\log_a s ,$$
$$r\leq s \iff \log_a r\geq\log_a s .$$

例解 変数 x に関する不等式 $2^{x-5}<7$ を解きます． $0<2^{x-5}<7$ なので，定理9.5より，

$$2^{x-5}<7 \iff \log_2 2^{x-5}<\log_2 7 ,$$

定理9.2.1より $\log_2 2^{x-5}=x-5$ なので

$$\log_2 2^{x-5}<7 \iff x-5<\log_2 7 \iff x<5+\log_2 7 ;$$

従って

$$2^{x-5}=7 \iff x=5+\log_2 7 .$$

つまり，不等式 $2^{x-5}<7$ を解くと $x<5+\log_2 7$ ． 終

例題 変数 x に関する不等式 $7^{2x-5}\leq 63$ を解く．
［方針］ 7 を底とする対数を考える．
［解説］ $0<7^{2x-5}\leq 63$ なので

$$\log_7 7^{2x-5}\leq\log_7 63 .$$

この不等式の左辺は $\log_7 7^{2x-5}=2x-5$ なので，

$$2x-5\leq\log_7 63 ,$$
$$2x\leq 5+\log_7 63 ,$$

よって $x\leq\dfrac{5+\log_7 63}{2}$ ． 更にこの右辺は

$$\frac{5+\log_7 63}{2}=\frac{5+\log_7(7\cdot 3^2)}{2}=\frac{5+1+2\log_7 3}{2}=3+\log_7 3 .$$

故に $x\leq 3+\log_7 3$ ． 終

問題 9.5.1 変数 x に関する不等式 $5^{2x-4}<45$ を解きなさい．

不等式の中に記号 x を含む式 $f(x)$ を真数とする対数の式 $\log_a f(x)$ が現れるとき，次のことに注意して下さい：

対数の式 $\log_a f(x)$ の真数 $f(x)$ は正である；

従って，その不等式が成り立つためには $f(x)>0$ でなければなりません．このことを真数条件といいます．

例解 変数 x に関する不等式 $\log_3(5x-6)<2$ を解きます． まず，対数の式 $\log_3(5x-6)$ の真数は正なので $5x-6>0$ ，よって $x>\dfrac{6}{5}$ ． 定理9.2.1より $2=\log_3 3^2=\log_3 9$ なので，

$$\log_3(5x-6)<2 \iff \log_3(5x-6)<\log_3 9 ,$$

定理9.5より，

$$\log_3(5x-6)<\log_3 9 \iff 5x-6<9 \iff 5x<15 \iff x<3 .$$

従って，不等式 $\log_3(5x-6)<2$ を解くと，$x>\dfrac{6}{5}$ かつ $x<3$ ，つまり $\dfrac{6}{5}<x<3$ ． 終

例題 変数 x に関する不等式 $\log_5(3x+7)>2$ を解く．
［注意］ まず対数の式の真数が正になる条件（真数条件）を考える．
［方針］ 右辺を 5 を底とする対数の式にする．
［解説］ 対数の式の真数は正なので， $3x+7>0$ ，よって $x>-\dfrac{7}{3}$ ． 不等式 $\log_5(3x+7)>2$ の右辺は $2=\log_5 5^2=\log_5 25$ なので，

$$\log_5(3x+7)>\log_5 25 ,$$
$$3x+7>25 ,$$
$$x>6 .$$

故に与えられた不等式を解くと，$x>-\dfrac{7}{3}$ かつ $x>6$ [8]，つまり $x>6$ ． 終

問題 9.5.2 変数 k に関する不等式 $3-\log_2(5k-2)\geq 0$ を解きなさい．

例題 変数 a に関する不等式 $2\log_9(2a-5)-1\leq 0$ を解く．
［注意］ まず対数の式の真数が正になる条件（真数条件）を考える．
［方針］ 両辺が 9 を底とする一つの対数の式になるように変形する．
［解説］ 対数の式の真数は正なので， $2a-5>0$ ，よって $a>\dfrac{5}{2}$ ． 不等式 $2\log_9(2a-5)-1\leq 0$ より

$$\log_9(2a-5)\leq\frac{1}{2} .$$

この不等式の右辺は $\dfrac{1}{2}=\log_9 9^{\frac{1}{2}}=\log_9(3^2)^{\frac{1}{2}}=\log_9 3$ なので，

$$\log_9(2a-5)\leq\log_9 3 ,$$
$$2a-5\leq 3 ,$$
$$a\leq 4 .$$

故に与えられた不等式を解くと，$a>\dfrac{5}{2}$ かつ $a\leq 4$ ，つまり $\dfrac{5}{2}<a\leq 4$ ． 終

問題 9.5.3 変数 x に関する不等式 $3\log_8(5x-11)\geq 2$ を解きなさい．

実数 a について $0<a<1$ のとき，任意の正の実数 r と s とについて，

$$\log_a r<\log_a s \iff r>s .$$

ですから，対数の式の底 a が 1 より小さいときは，両辺から対数記号 $\log_a$ を外すとき不等号の向きが逆になります．

例題 変数 y に関する不等式 $\log_{\frac{1}{2}}(2y-1)>2$ を解く．
［注意］ まず対数の式の真数が正になる条件（真数条件）を考える．
［方針］ 右辺を $\dfrac{1}{2}$ を底とする対数の式にする．
［解説］ 対数の式の真数は正なので， $2y-1>0$ ，よって $y>\dfrac{1}{2}$ ． 不等式 $\log_{\frac{1}{2}}(2y-1)\geq 2$ の右辺は $2=\log_{\frac{1}{2}}\left(\dfrac{1}{2}\right)^2=\log_{\frac{1}{2}}\dfrac{1}{4}$ なので，

$$\log_{\frac{1}{2}}(2y-1)>\log_{\frac{1}{2}}\frac{1}{4} ,$$

対数の式の底 $\dfrac{1}{2}$ は 1 より小さいので，両辺から対数記号 $\log_{\frac{1}{2}}$ を外すとき不等号の向きが逆になる：

$$2y-1<\frac{1}{4} ,$$
$$y<\frac{5}{8} .$$

故に与えられた不等式を解くと，$y>\dfrac{1}{2}$ かつ $y<\dfrac{5}{8}$ ，つまり $\dfrac{1}{2}<y<\dfrac{5}{8}$ ． 終

問題 9.5.4 変数 z に関する不等式 $\log_{\frac{1}{3}}(4z-5)+2\geq 0$ を解きなさい．

---

[8] この例題では，不等式 $x>6$ を導く途中で $3x+7>25$ となっているので，真数条件 $3x+7>0$ は必然的に成り立ちます；ですから真数条件を別途考える必要は実はありません．